

明るい郷土

住みよい高萩

市 報
たかはぎ

第 20 號

毎月一回5日発行

發行所 高萩市役所
編集總務課
印刷 藤枝印刷所

臨時市議會を開く

去る三月三十日高萩市立小中学校統廃合について、ほか十件と、更に引つゞいて四月十九日には、市の境界変更に関する争論の調停停案の受諾について、臨時市議会の開催、いづれも慎重審議が行われた結果左の通函の一部修正一件その他原案どおり可決された。

昭和三十三年三月三十日開催の臨時市議会の付議事件

議案第二十七号 高萩市立
小中学校統廃合について
本案は新市建設促進法に
基く小中学校の小規模学
校を統合適正化して義務
教育の水準を高めようと
するため本市の小中学校
統廃合の計画案の議決事
項である。(原案可決)

議案第二十八号 横川中
校廃止について、
本案は昭和三十二年三月
三十一日を以つて横川中
学校を統合するために廢
止する事件の議決事項で
ある（原案可決）

議案第二十九号 横川中学校財産用途変更について、
本案は横川中学校を廃し、
横川小学校へ土地建物及び
物件の全部を転用する
ためその財産用途の変更
を行おうとする議決事項
である。(原案可決)

議案第三十号 中戸川小学校舎処分について。

本案は中戸小学校舎の新設に伴う旧校舎を解体する事件の議決事項である（原案可決）

議案第三十一号 高萩市立幼稚園設置條例設定について、

本案は本市に新しく市立幼稚園を設置するためにその運営に必要な條例を設定したもので第二條の名稱の條項を削除し規則で定めるべく修正があつた。(修正可決)

議案第三十二号 高萩市職員定数條例中一部改正について

本案は市立幼稚園の設置に伴い関係職員を増えることになるので市職員定数の一部を改正するものである。(原案可決)

議案第三十三号 高萩市職員退職手当支給條例の一部改正について、

本案は従来の條例中附則第三條を改め昭和三十一年四月一日から同年六月三十日までで退職した職員に対しては普通退職の

五割増の計算による手当を支給できるよう定めたものである（原案可決）

議案第三十四号 昭和三十一年度歳出予算の繰越議決について、

本案は昭和三十一年度において計上した市庁舎敷

地の予算を年度内支出がなされないために昭和三十三年度へ繰越すための議決事項である。(原案可決)

議案第三十五号 昭和三十一年度高萩市歳入歳出追加更正予算について

本案は昭和三十一年度予算の不足の追加分であり歳入において地方交付税三十五万二千円物件売拂代金六万三千円計四十一万五千円である。歳出に

おいて役所費二十三万八千六百二十円、教育費十二万九千三百八十円、保健衛生費四万七千円で計四十一万五千円である。これでは本年度の最終予算総額は一億五千七百七千四百七十二円となつた。

（原案可決）
議案第三十六号 昭和三十
二年度高萩市歳入歳出追加
予算について

本案は市立幼稚園に関する予算の追加で当初予算百五万円を計上した。

議案第三十七号 高萩市立幼稚園授業料等徴收條例設定について本案は市立幼稚園入園児童に係る授業料等の徴收條例である。

(原案可決)

昭和三十三年四月十九日開催の臨時市議会の付議事件

議案第三十八号 市の境界
変更に関する争論の調停案
の受諾について
本案は県新市町村建設促

進善議院において望海地区の境界変更に関する調停案受諾の被告がなされた後も本市としてこの事件を受諾しようとする事件の議決事項で境界変更問題により高崎市へ編入する地域は北城市中心郷町日棚のち字南小室一、三三九の一、一、三三九の二、一、三三九の三、一、三四〇の一、三四一、一、三四四まで、一九一六の一、一九一八の二、一、一九一九の二、一、九二〇の一、一九二一の二、一、九二二の一、九二二の

市立幼稚園開設

幼稚園を設置して義務就学
前の幼児教育を実施しては
いらいと市立第一幼稚園を開
設いたしました。将来完全
な独立園舎を建築する予定
ですが市公会堂を改造して
教育を開始いたしました。
原則として満五才児を入園
させることにいたしました
りです。これが健康診断に
合格した四才児も收容いた
します。現在五才児ですが
まだ余六才から希望者は
申込下さい。

は次の通り

| | | |
|------|-----|----------|
| 助教諭 | 國長 | 高萩小学校長兼務 |
| 大森寛子 | 酒根治 | |

兒童の氣轉が

事を消止る

去る一月四日朝方から雪み
ぞれで十四、五米の強風が

二。一、九二一の三。
一、九二二の二。一、九
二三。字吉原一、九四四
の一。字吉原一、八九八
から一、九〇〇まで。
一、九〇一。一、九〇二
の一から一、九〇三の四
まで。一、九三〇から
一、九〇六まで。一、九
〇八。一、九一三の二。
一、九一三の三。一、九
一四の二。
一、九一四の三。一、九
一五の一から一、九一五
の五まで。（原案可決）
※本案は北茨城市において
も同様議決された。

吹きまくつていた午前十時頃、栗小學校二年の玉置九男さんが加老から横川へ通る途中の山林に山火事が発生しているのを見つ、驚いて三年生の姉さん（愛子さん）に話すと共に附近の人達に急を知らせたので、大川達八と子供四人がかつて来て力を合せて消火につとめたが、大體一反歩位焼いただけで鎮火した。しかしこの山火事の発見が遅れていたらこんな強風の際際であつたから十数年前の様な大火事になつたかも知れない。山に住む人、山を通る人の氣転によつて大事にならないで落む事が度々あると考へられる。二人の子供のこの善行も常に賞はされている『注意』の表れであつたと思う。こんな心を多数の人に、子供にも、教ないものである。広木學校にも学芸会の際この氣転の二人に賞詞をあたえ、伝え聞いた高萩警察署長も記念品を贈つて表彰した。

お宅は大掃除が

すみましたか!!

- 1、五月になると蚊、はえ、のみなど人間生活をおびやかす昆虫類が一せいに発生します。また暖かくなるといふの病源菌が発生して赤痢、疫痢、チフス等各種の伝染病が発生して私達に大きな不安を与えます。今が昆虫類や病源菌を除去する一番よい時期でありますので、これ等を徹底的に防除するため次に春季大掃除を実施いたしますから共同で清掃や薬剤散布を実施するよう希望いたします。
- 2、そして清潔で健康で明るい市民の生活を確保いたしましょう。
- 3、実施期間 五月一日から五月三十日まで
- 4、実施方法
 - 1、各組内毎に日取りを定めて組内一齊に実施すること。
 - 2、家屋の内外にわたり大掃除をすること。
 - 3、畳、敷物、寝具等を日光にあてること。
 - 4、物置、押入、戸棚類の隅ずみをよく手入れしねずみの出入口等をなくしておくこと。
 - 5、床下はごみを掃き換気を充分にすること。
 - 6、室内の換気採光をよくすること。
 - 7、井戸流し、台所流し及び下水溝等はよくさつて排水をよくすること。
 - 8、ごみ箱は必ず蓋をつけること。
 - 9、便所はくみ取りその内外を清潔にし、周囲の汚染防止に努めること。
 - 10、便所、ごみ箱附近の汚土をごみとともに焼くこと。
 - 11、浸潤の甚だしい所には乾燥した土砂をまくこと。
 - 12、鼠、蚊、はえ等の棲息場所、発生場所を除去すること。
 - 13、川や下水に汚物、ごみ等を捨てないこと。

新農薬「パラチオン」

取扱について

農作物の殺虫剤として使われている有機燐製剤(新農薬)とは一般にパラチオン

ホリドール等の製品名で呼ばれており非常に猛毒性をもつています。

この薬は使い方によつて危険が伴うもので、これまでの毒物で代表的な「青酸カリ」と比べて同じ位、いやそれにもまさる毒性があります。さらに困ることは口からばかりでなく皮膚や目鼻の粘膜等からも吸収されて人の体に危害を与え、やがては死に至るようなことになり得ます。もし万が一この中毒者が出たときは患者を静かに木陰等に移し安静にして置き、い早く医師にみてもらうことがたいせつです。へたな素人治療は絶対にしないことです。このような危害を防止するために毒物及び劇物取締法という法律があつてその買受、使用、所持ができる者としては国、地方公共団体農業協同組合、農業共済組合それに農業者の組織した団体で知事の指定を受けたものとのみとなつています。ですから個人の買受、使用所持等は厳に禁止をされて

いるわけです。それに貯蔵、使用方法等についてはいろいろな規定があり、使用後は衣服、機械器具、空容器等の処置についても法律で規定されていますから空びん、空袋等を勝手に捨てることのないように注意して下さい。また薬を散布するときの注意として次の事を守りましょう。

- 1、服装は完全防水のものを用い帽子、メガネ、ゴム手袋等をかけできるだけ皮膚の露出面をなくすること。
- 2、日々の天気即ち風向等に注意してできるだけ身体にかからないようにすること。
- 3、同一人が長時間散布しないこと。
- 4、作業中は煙草を吸わないこと。
- 5、周囲の状況に絶えず注意して散布すること。

5月の納税は

自轉車荷車税 全期

納期は5月末日限り

市税を完納し市の発展を
圖り市民の幸福を圖りま
しょう

中央児童公園完成

本公園は昭和二十一年七月二十一日土地区画整理事業によつて敷地七二二、一五坪を確保し都市公園美の完成に其の成果を上げるものになつた。今般公園整備事業として、昭和三十一年度事業決定により工事費八〇〇、〇〇〇円(国庫補助金四〇〇、〇〇〇円市負担金四〇〇、〇〇〇円)を以つて昭和三十一年十月二十六日工事に着手このほど竣工を見、五月五日の子供の日に盛大なる開園式を行つた。

工事内容は遊戯施設としてブランコ(四連式)一ヶ所、シーソー(二連式)一ヶ所、腰掛ブランコ(二連式)一ヶ所、砂場一ヶ所、ジャングルジム一ヶ所、水水平、雲梯一ヶ所を永久的構造物とし工作物としては藤石一三一米ベンチ六脚門柱三ヶ所、周囲一六四米に生垣、工を施し建築物パーゴラ一ヶ所、市工事として便所一ヶ所、照明燈一基を施設し公共の福祉の増進に供することになつた。

昭和32年度第一次自衛官募集

- 一、募集人員

| | |
|-----------|----------|
| 陸上自衛官二等陸士 | 約一一、四〇〇名 |
| 海上自衛官二等海士 | 約八〇〇名 |
| 航空自衛官二等空士 | 約五〇〇名 |
- 二、受付期間及
び受付場所

| | |
|-----------|---|
| 航空自衛官二等空士 | 約 |
| 市役所總務課 | |
- 三、試験期

| | |
|-----|-------------------|
| 第一回 | 五月六日から五月十日まで |
| 第二回 | 七月一日から七月十三日まで |
| 第三回 | 四月二十から六月十日までに受けた者 |

公明選挙ポスター入選

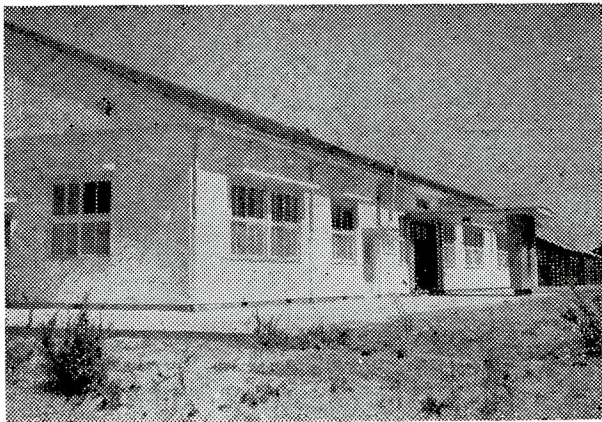
本年三月、自治庁、文部省、都道府県選挙管理委員会、連合会外五つの公明選挙推進機関の主催により全国の小学校児童、中学校高等学校生徒から公明選挙ポスター募集が行われたが、本市からの応募作品数、小中

学校併せて十数点の内、左の者が入選し都道府県選挙管理委員会連合会々長から賞状及びメダルが贈られた松岡小学校五年生吉田豊一君、向今後ポスター作品の募集等があつた時は奮つて応募下さるよう希望します

明るい伝染病舎成る

昨年十二月起工して新築工事中だつた高萩市及十王町防疫組合立伝染病舎は、このほど完成して、去る四月二十六日竣工式が行われた。近代の建築と施設の完備をもつて県下に誇り得る明るい伝染病舎が、高萩協同病院に併設され、高萩十王両市町の福祉の上に一大躍進を見たわけである。

高萩市及十王町防疫組合は、伝染病隔離舎を設置し、これを共同管理するため設置された地方自治法による一部署務組合であつてその事務に関する限り、理



竣工した伝染病舎

事者と組合議会で運営されることは、一般の地方公共団体と同様の性格をもつものである。

管理者 (高萩市長) 小峰 威夫
助役 (十王町長) 鈴木 穂積
収入役 (高萩市収入役) 村田 正巳
組合議会議員
議長 矢代光史 (高萩)
副議長 根本孝俊 (十王)
議員 村山礼一郎 (同)
櫻村好之 (同)

同 櫻村禎一 (十王)
同 鈴木広次 (高萩)
同 渡辺東治 (同)
同 下山田榮三郎 (同)
同 上田助重 (同)
伝染病舎の建築費は、新築主体工事 四〇〇万円
電気工事 四八万円
給排水衛生工事 七四万九千円
初度設備費 三六万円
合計 五五八万九千円
財源は
県補助金 二八五万円
起債 一五〇万円
高萩市、十王町分擔金 一二三万九千円
別途工事として施工した塀工事、排水工事の費用約七八万円
なお昭和三十二年に於てSK消毒機を備える予定であり、此の費用は七二万円 (内補助金四八万円) ということになつてゐる。

この病舎を高萩協同病院に併設した理由は、従来の隔離病舎が人里離れた場所に設けられ、医療も十分でなく、患者やその家族に不安を与えていたのを改めて安心して而も高度の医療を受けられるような施設とするという、国や県の方針に基づいたもので、消毒施設が完備しているの、他都市にも多く見られる通り、市街地に伝染病舎があつても、伝染の恐れはなく、少しも心配することはないのである。

次に一言しておきたいことは、伝染病舎入院患者の食費薬価徴収條例という市條例が公布され本年四月一

日から適用されているので今後伝染病舎に入院して治療を受けた患者については生活保護法の適用を受けている者以外は、條例に定める食費、薬価を、患者の属する世帯の世帯主が、市に納めなくてはならないことである。但し特別な理由のある者は、減免を申請して

本市の失業対策事業

失業対策事業とは、国家が失業それ自体の発生を防止することに努めるのは勿論であるが、失業の発生した場合には、失業対策を実施し失業者の生活の安定とその労働力の維持保全を図ることが要請される。失業対策としては、積極的に就業機会を造出し、これに失業者を雇用吸収する積極対策と、その最低生活の確保を図る消極対策との二つに分けられる。前者は公共投資により雇用機会を積極的に造出するものであつて、公共事業及び失業対策事業が挙げられ、後者としては失業保険金支給が挙げられる。この様に、失業対策事業は、公共事業と相並んで積極的失業対策としての性格をもつものである。単に失業者の生活の最低保障のみをなすことは、一國の勞働力の維持保全の見地より必ずしも望ましいものでなく、積極的に公共投資を行い、これによつて造出される雇用機会に失業者を吸収して勞働力の保全を図ると

審査を受けることができることになつてゐる。明るい立派な伝染病舎が建つて、患者は安心して入院できるよつになつた。併し伝染病は絶滅を期すべきであり、何よりも大切なことは、予防衛生に注意して伝染病には、罹らないこと罹らせないことである。

二、事業の実施によつて我が國經濟の興隆に寄与すること。
さらに失業対策事業は次の様な特質をもつてゐる。
一、失業者に就業の機会を与えることを主たる目的とする事業であること。

| 年度別 | 一日当り 吸収人員 | 年間 吸収人員 | 事業内容 |
|---------------|--------------|------------|---------------|
| 二十四年度 六月以降 | 五〇人 | 一五、〇〇〇人 | 秋山小学校運動場整備事業 |
| 二十五年度 | 五〇人 | 一五、〇〇〇人 | 秋山小学校校運動場整備事業 |
| 二十六年度 | 五〇人 | 一五、〇〇〇人 | 秋山小学校校運動場整備事業 |
| 二十七年 | 五〇人 | 一五、〇〇〇人 | 高萩中学校校運動場整備事業 |
| 二十八年 | 五〇人 | 一五、〇〇〇人 | 高萩中学校校運動場整備事業 |
| 二十九年 | 五〇人 | 一五、〇〇〇人 | 高萩中学校校運動場整備事業 |
| 三十年 | 一七〇人 | 五一、〇〇〇人 | 高萩中学校校運動場整備事業 |
| 三十一年 | 一七〇人 | 五一、〇〇〇人 | 高萩中学校校運動場整備事業 |
| 計 | 一九二 | 一、〇〇〇 | |

市消防團分團統合成る

| | |
|-----|-------|
| 團長 | 沼田吉人 |
| 副團長 | 鳥居塚鐵治 |
| | 穂積政次 |
| | 廣木 |

| | 第一分團 | 第二分團 | 第三分團 | 第四分團 | 第五分團 | 第六分團 | 第七分團 | 第八分團 |
|-----------|----------------------------------|---------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 分團長、副分團長名 | 木内 副 柴田 副 保幹 幹 尙益 益 | 大高 副 金澤 副 喜男 喜 | 棚谷 副 鈴木 副 永造 永 | 小野 副 鈴木 副 長久保 昭 文次 文 | 渡邊 副 鈴木 副 富賀 賀 尙二 尙 | 沼田 副 佐川 副 勝美 勝 | 鈴木 副 鈴木 副 義一 義 | 大部 副 佐川 副 安應 安 |
| 部部長名 | 田所 幸男 石門 一郎 寺門 庄司 | 神長 明 柴田 團次郎 園次郎 | 佐藤 一夫 稻藤 信雄 棚谷 良雄 沼田 武美 | 鈴木 元治 國井 四進 細金 郎 | 小幡 西精吉 作山 一平 神代 平 | 廣木 重榮 佐川 正 | 金澤 道雄 鈴木 千之 | 大部 秀彦 櫻村 義光 |
| 部團員數 | 外二名 外一名 外一名 計73名 | 外二名 外一名 外一名 計44名 | 外二名 外一名 外一名 外一名 計86名 | 外二名 外一名 外一名 外一名 計60名 | 外二名 外一名 外一名 外一名 計60名 | 外二名 外一名 外一名 計38名 | 外二名 外一名 外一名 計42名 | 外二名 外一名 外一名 計36名 |
| 責任區域 | 驛東區 日町、大和町 塚本、和町 台高萩、行人 | 大字安良川、大字石瀧 | 福平、秋山、島、大字、北高萩、大字、大字、大字 | 赤濱、大字、下手、高戸、綱 | 望海、大字、上手、綱 | 君田、大字、若栗、上、牧場 | 君田、大字、横川、下 | 戸川、大字、大能、(牧、場を除く)、中 |

市役所職員異動

| | | |
|--------|-----------------------------|---------------|
| | 職員の異動が次の通り発令された()内は旧職名である。 | |
| 四月一日 | 退職 | 神代義五郎(福祉事務所長) |
| 四月一日 | 退職 | 山田茂雄(嘱託) |
| 四月一日 | 土木課長事務取扱を解く | 助役 |
| 四月一日 | 福祉事務所所長事務取扱 | 助役 |
| | 主事 | 白土豊次郎(土木課長補佐) |
| | 書記 | 高岡支所 |
| | 書記 | 野己之太郎(商工課) |
| | 簿記 | 都吉(高岡支所) |
| | 簿記 | 佐藤省三(松岡支所) |
| | 〃 | 金沢世津子(土木課) |
| | 〃 | 塚本栄子(戸籍課) |
| | 福祉事務所庶務係長 | 書記 |
| | 援護係長指導 | 主事 |
| | 〃 | 益子平 |
| | 〃 | 鈴木弘孝 |
| 四月一日採用 | 土木課臨時雇 | 松本文彦 |
| 〃 | 戸籍課臨時雇 | 鈴木文彦 |

ふるさとのお

全國優良賞受賞

高萩農協で出している機関紙「ふるさとの土」は第一

年連盟棚谷寛氏の大きな力を忘れてはならない。

戸籍事務と配

給事務

給事務

從來松岡支所及高岡支所で取扱つていた戸籍、配給兩事務は、四月一日より總て高萩の本庁で取扱うことになつた。

3、それらを知らせるために「やさしい読まねの新聞」をつくることに専念した。

全国優良賞の栄冠をかちえた背後に編集に努力した農協監事沼田保氏及び農協青勝した。

◎さる四月二十八日、五月五日の二日に亘つて高萩市第一回社会人野球大会が開催され参加チームは十一チームで決勝戦は高萩市役所と高萩バルブで行われ市役所チームが優勝した。